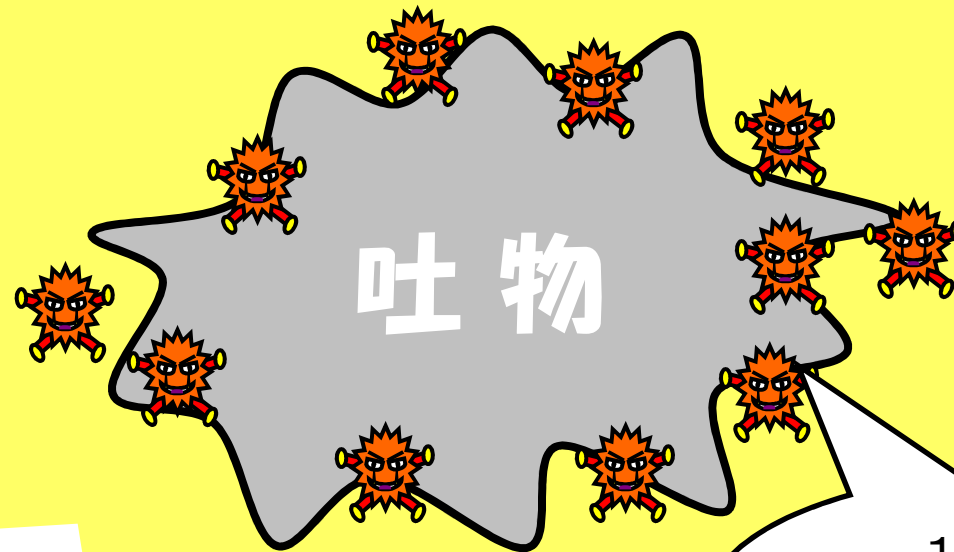


吐物の処理

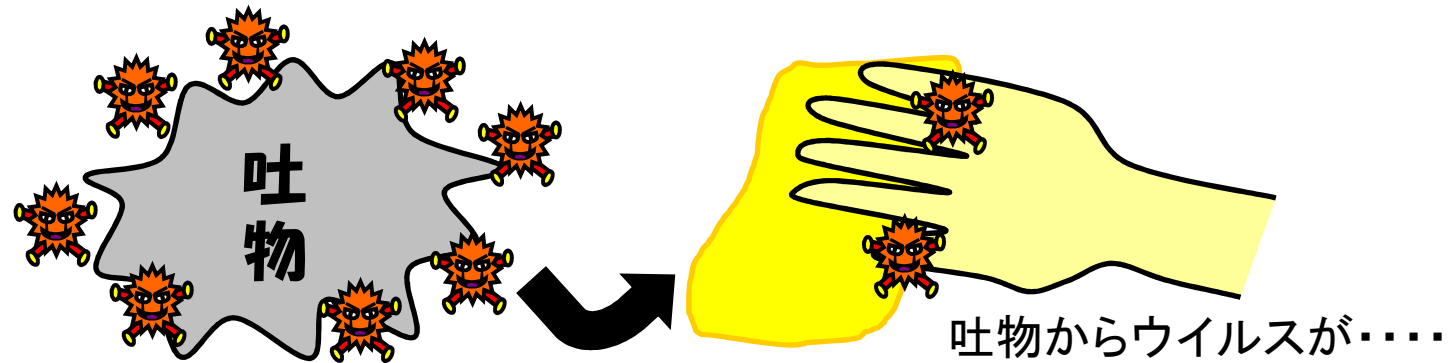
吐物の処理を甘くみてはいけません！

吐物には大量のノロウイルスが...



1gあたり
1万～10万個程度
のウイルスが存在

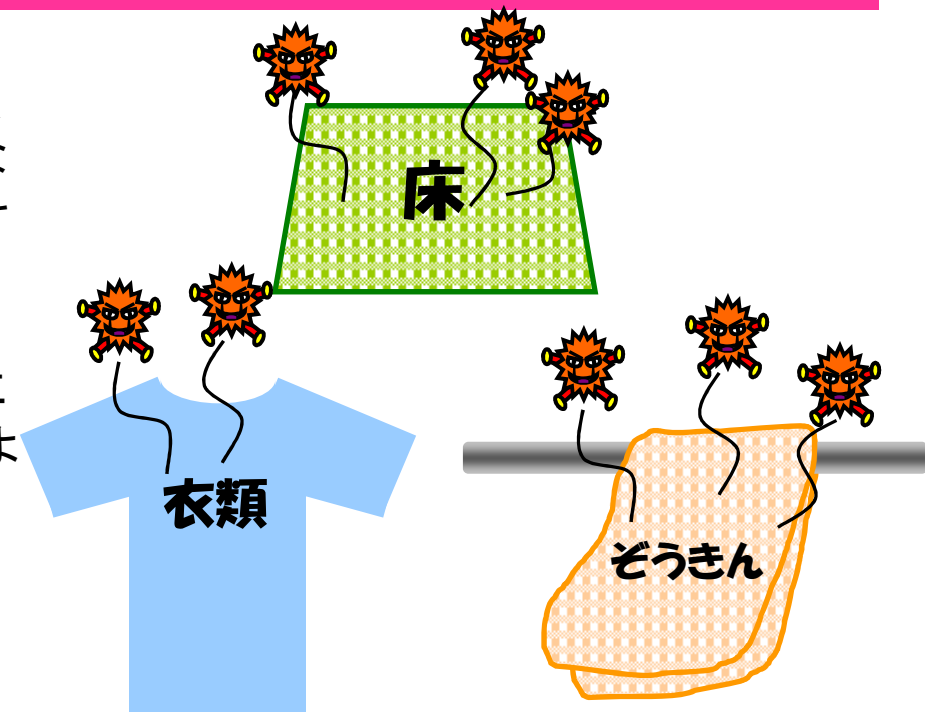
素手での処理は危険です！



消毒を徹底しないと危険です！

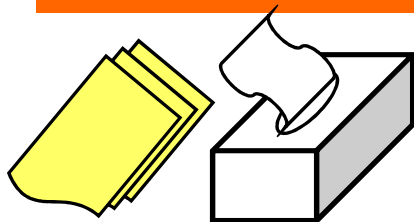
吐物により汚染を受けた床、衣類、布団、あるいは処理に用いた雑巾などを簡単な水洗いで済ませてはいけません！

ウイルスが死滅せずに残っているため、乾燥後にウイルスが空気中に飛散し、この粒子を吸い込むことにより感染することがあります。



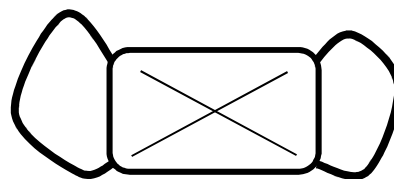
吐物の処理に準備するもの

使い捨てタオル、ティッシュ
新聞紙



吐物のふき取り
に使用

マスク



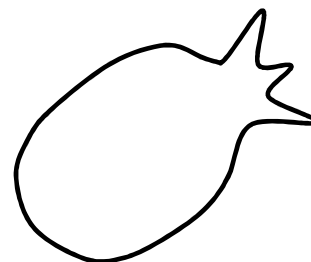
吐物の粒子を吸
い込まないため
に使用

手袋(できれば使い捨て)



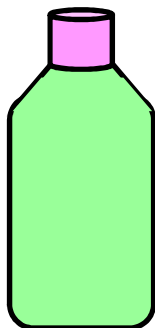
手指を吐物の汚
染から防ぐため
に使用

ビニール袋2枚(液漏れし
ないもの)



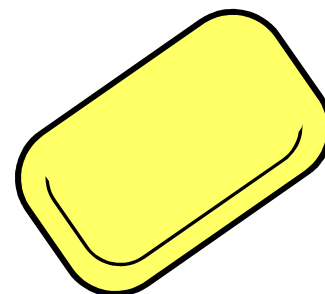
吐物などの廃棄
に使用

塩素系漂白剤



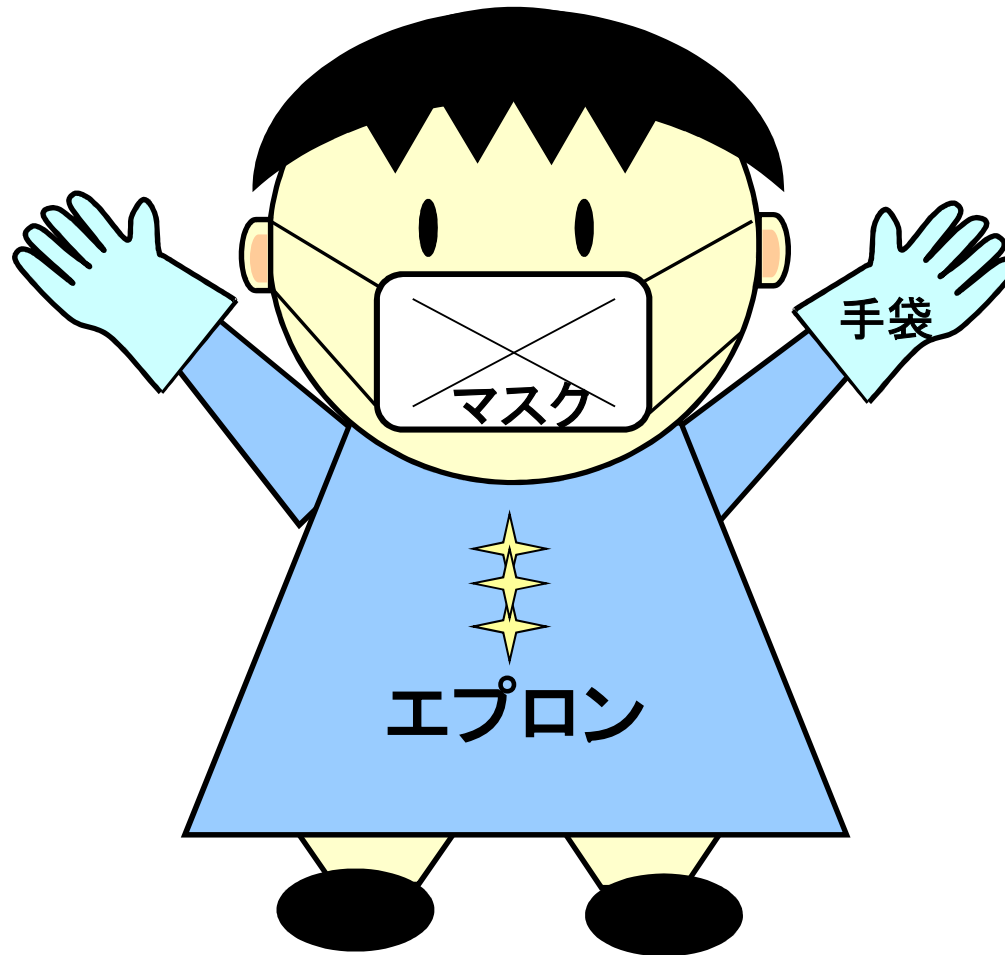
吐物の汚染を受けた床、衣
類、布団などの消毒に使用
ノロウイルスは、「アルコール」
や「逆性石けん」などでは消
毒効果が期待できません！

石けん



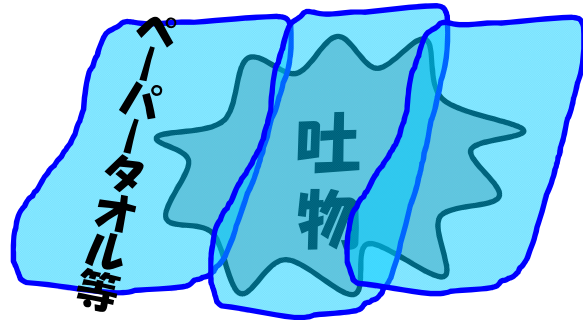
手指の洗浄に
使用

吐物の処理方法①



①処理を始める前に、手袋、マスク、エプロンを着用しましょう。

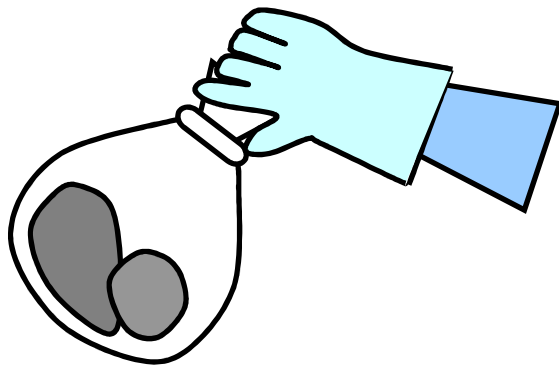
吐物の処理方法②



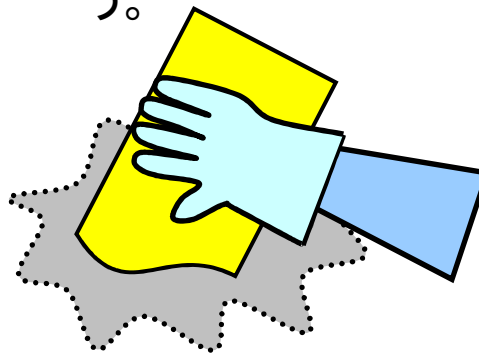
②吐物全体を、**使い捨ての雑巾、ペーパータオル**などで覆いましょう。



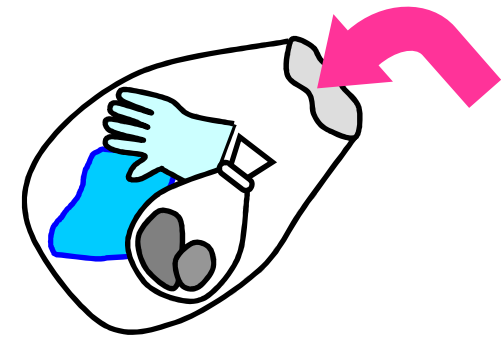
③吐物を覆ったペーパータオル等の上から**塩素系漂白剤を1,000ppmに薄めた液**をかけ5分間おきましょう。



④ペーパータオル等を外側から内側に吐物と一緒に拭き取り**ビニール袋**に入れ、袋の口をしっかりと縛りましょう。

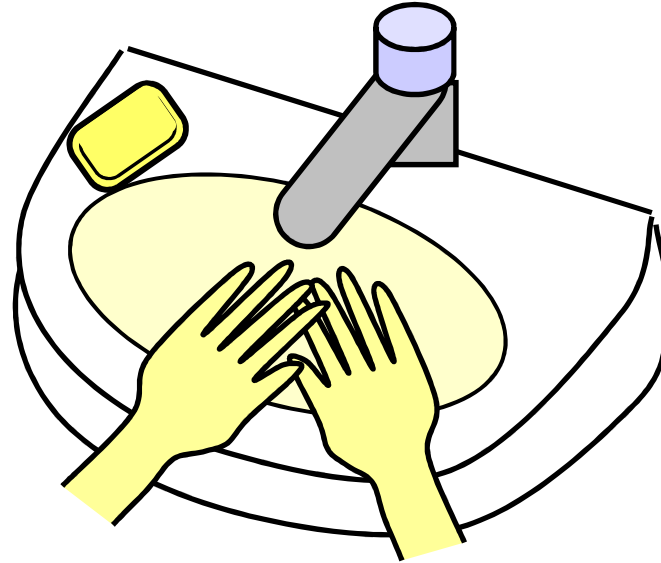


⑤吐物のあった場所を**塩素系漂白剤を200ppmに薄めた液**に浸したペーパータオル等で拭き取りましょう。



⑥汚物の入った袋と使い捨て手袋等を**ビニール袋**に入れ、口をしっかりと縛り、廃棄しましょう。

吐物の処理方法③



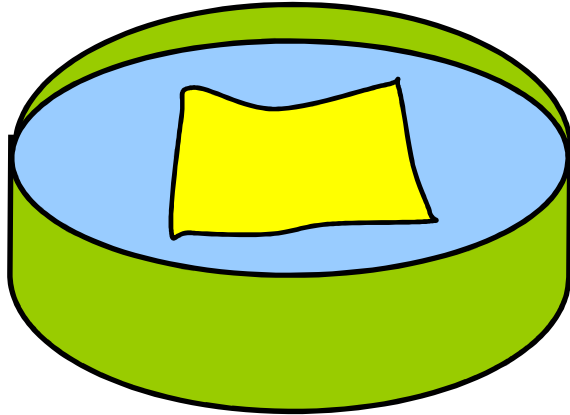
- ⑥最後は、**石けん**でよく手を洗いましょう。
最低30秒以上もみ洗いしましょう。

注意点

塩素系漂白剤は、ご家庭や保育所、幼稚園など小さいお子さんがいる施設では、大人がしっかり管理しましょう。

また、塩素は金属腐食性がありますので、拭き取った場所が金属の場合は、もう一度水拭きしましょう。

消毒液の使用法



通常は、200倍で消毒して下さい。
また、特に吐物により汚れてしまった衣類、シーツ、タオルなどは、50倍に希釈した塩素系漂白剤に30分浸し、その後洗濯しましょう。

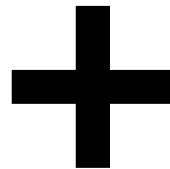
※素材によっては色落ちしてしまいますが、ノロウイルスを死滅させるために必要な手段です。

ペットボトルを使った調整方法

塩素濃度5～6%の塩素系漂白剤を使って



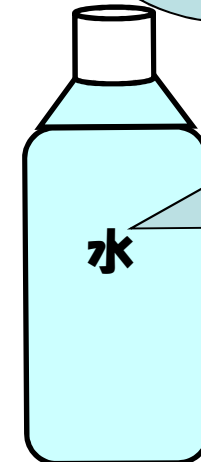
ペットボトルのキャップで2杯(約16ml)



500ml(約50倍)



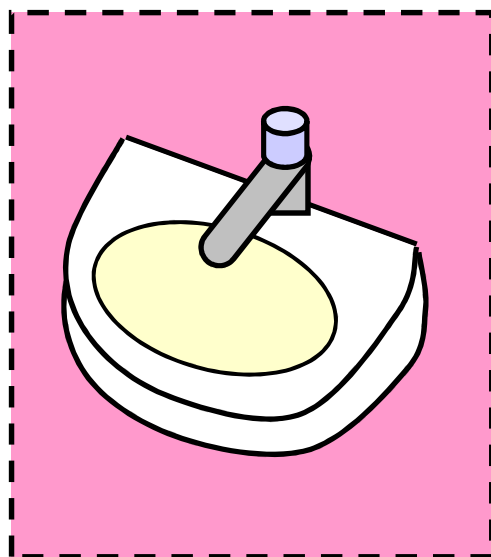
1000ppm
より高い塩素
濃度が
得られます。



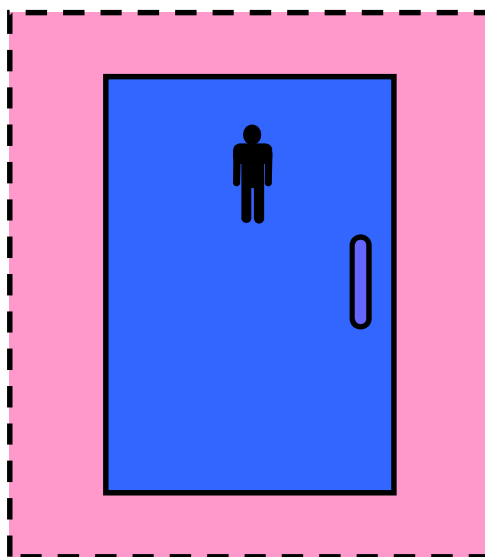
200ppmよ
り高い塩素
濃度が得ら
れます。

2リットル(約200倍)

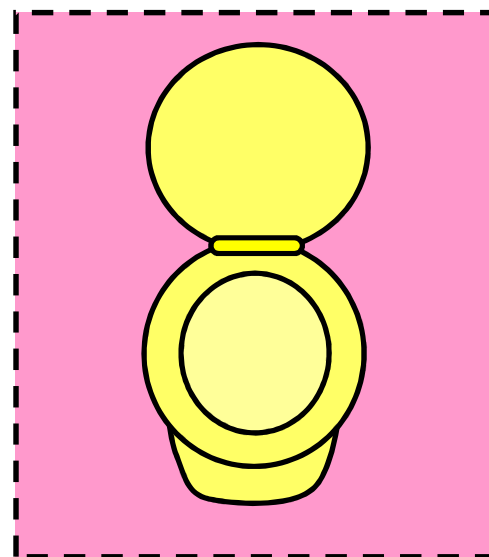
こんなところの消毒も・・・



水道の蛇口



トイレのドアノブ



便器

50倍に希釈した塩素系漂白剤を含ませた布やティッシュなどでよく拭き取りましょう。
金属に使用した場合は、水拭きも忘れずに。
消毒するときは換気を十分にしましょう。